

# JIS

## 自動車部品 — シートベルト

JIS D 4604-1995

(2006 確認)

平成 18 年 3 月 25 日付け追補 1 あり

平成 7 年 2 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

---

主 務 大 臣：通商産業大臣            制定：昭和 41. 3. 1    改正：平成 7. 2. 1

官 報 公 示：平成 7. 2. 1

原案作成協力者：社団法人 日本自動車部品工業会，財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 自動車・航空部会（部会長 金原 淑郎）

この規格についての意見又は質問は，工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 - 1）へ連絡してください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第15条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

## 自動車部品—シートベルト

D 4604-1995

## Automotive parts—Seat belt

1. 適用範囲 この規格は、自動車による交通事故などの際に、乗員を傷害から防護し、又は傷害を軽減するために、自動車に取り付けて使用するシートベルト(以下、シートベルトという。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS B 0208 ユニファイ細目ねじ
- JIS B 0212 ユニファイ細目ねじの許容限界寸法及び公差
- JIS B 7753 サンシャインカーボンアーク灯式耐光性及び耐候性試験機
- JIS D 0101 自動車の種類に関する用語
- JIS D 0201 自動車部品—電気めっき通則
- JIS D 0202 自動車部品の塗膜通則
- JIS D 0205 自動車部品の耐候性試験方法
- JIS D 1050 自動車の衝撃試験における計測
- JIS D 1201 自動車室内用有機資材の燃焼性試験方法
- JIS G 4303 ステンレス鋼棒
- JIS L 0801 染色堅ろう度試験方法通則
- JIS L 0848 汗に対する染色堅ろう度試験方法
- JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
- JIS Z 8901 試験用ダスト

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) シートベルト ウエビング、取付具、バックル、長さ調節具などで構成し、自動車の車室内に乗員を拘束する装置。
- (2) 二点式シートベルト 乗員の腰部を拘束するための2点支持形式のシートベルト。
- (3) 三点式シートベルト 乗員の腰部及び上胸部を同時に拘束するための3点支持形式のシートベルト。
- (4) 三点式シートベルトの腰部 三点式シートベルトの腰部に掛ける部分。
- (5) 三点式シートベルトの肩部 三点式シートベルトの上胸部に掛ける部分。
- (6) ウエビング 繊維材料で作った帯状のもの。
- (7) 腰ウエビング 二点式シートベルト及び三点式シートベルトの腰部に用いるウエビング。
- (8) 連続ウエビング 三点式シートベルトの、腰部及び肩部の両方を拘束する単一のウエビング。
- (9) バックル 乗員を座席に拘束し、かつ、速やかに解離するためのシートベルトの結合部。
- (10) 包囲形押しボタン 直径40 mmの球を用いてバックルの押しボタン部を押したときに、解離できない形式のもの(付図1参照)。
- (11) 非包囲形押しボタン 直径40 mmの球を用いてバックルの押しボタン部を押したときに、解離できる形式のもの(付図1参照)。
- (12) 部分的結合 バックルにタングプレートを挿入したときに、完全に結合しておらず、引っ張るとタングプレ